

## 【審査基準】

	審査項目		配点
1	機能性	着用感を重視した工夫がされているか。	10
2		活動や着脱がしやすい工夫がされているか。	10
3		保温性、通気性等、学校生活を快適に過ごせる仕様となっているか。	10
4		素材や縫製技術面など、3年間の着用に耐えうるような仕様となっているか。	10
5		着崩れや型崩れが起きにくい工夫がされているか。	10
6		自宅での洗濯が可能である等、手入れがしやすい工夫がされているか。	10
7		抗菌防臭、撥水等の加工がなされているか。	10
8	経済性	保護者等に配慮した価格設定となっているか。	10
9	生徒への配慮	生徒が自由に選べる仕様となっているか（性的マイノリティへの配慮等）。	10
10		市内全体でリユースしやすい学校の表示方法となっているか。	5
11		反射材の装着等で安全性に配慮した仕様となっているか。	5
12	デザイン	清潔感があり、式典等の服装として対応できるものであるか。	5
13		生徒、保護者、地域に対し、好感がもてるものであるか。	10
14	利便性	新入生の採寸や注文受付について、生徒、保護者、学校に配慮したものとなっているか。	5
15		購入に際し、販売方法等での生徒、保護者への利便性が確保されているか。	5
16		修繕が発生した場合等のアフターサービスの体制がとられているか。	5
17	事業者	生徒やその保護者または小中学校への情報提供や情報収集に協力できているか。	5
18		制服の供給を継続できる安定した経営的基盤を有しているか。	5
19		制服の最終仕様決定における生徒、保護者、学校関係者からの意見をどの程度まで反映させることができるか。 （決定業者が提案した見本品を市内全中学校等に展示し、生徒、保護者、学校職員から出された要望を制服の最終仕様決定にどこまで反映させることができるか。） 生徒を関わらせるような企画提案ができているか。 【例】展示会、プレザー選挙など	5
20		地域経済への貢献に対する具体的な考えを有しているか。	5